

道の駅めぐみ白山のSDGs商品プロモーション事業

団体名●新ゼミナール／代表者名●新広昭(総合研究所・特任教授)

はじめに

本事業は、白山市と本学との包括連携協定に基づいた事業の一環として実施しているものである。

白山市は国の「SDGs未来都市」に認定されているが、その大きな目標として掲げているのが「白山手取川ジオパーク」のUNESCOによる国際認証である。UNESCOから認証の条件として示されているのが産学官市民のパートナーシップによって認証に向けた大きなムーブメントを起こしていくことである。

そこで、新ゼミナールでは地域資源(特産品、文化、歴史、コミュニティ等)の集積及び情報発信拠点としての道の駅の機能に着目し、国道8号線沿い白山市宮丸地内に立地する「道の駅めぐみ白山」(以下、めぐみ白山)で販売されている白山麓地域を中心とした地元特産品のSDGs側面を、観光客等の来店者にアピールするプロモーション活動を展開し、国際認証の一助とすることを目的として本活動を行った。

活動内容

2021年7月3日に現地視察を行い、11月23日～24日に下記の2項目を中心に活動した。

①地元特産品のSDGs商品としての情報発信活動

めぐみ白山の物販コーナーで販売されている地元特産品の原材料、生産方法、生産者、商品の特徴などを学生が調査し、SDGsの17項目の目標と紐づけ、白山きれいフルーツブルーベリー酢、山立会でけえなめこ、とぼ餅など7品目のオリジナルPOPを作成し商品の陳列スペースに掲示した。また、商品とPOPをinstagram(SIN_ZEMI)で情報発信した。

②特産品生産者の紹介動画の作成

農業組合法人北辰農産と合同会社山立会の2社にご協力をいただき、学生が取材して紹介動画を作成し、YouTubeにアップするとともに、動画のQRコードを両社のPOPに掲示し、POPを見た来店者が生産者のことを知ってもらえるようにしたので、ぜひアクセス願いたい。

・北辰農産(店内紹介編)動画

https://youtu.be/Z_AWVJfn4gU

・北辰農産(インタビュー編)動画

https://youtu.be/FZOIf_vQzxs



めぐみ白山でのPOP作成



POPの掲示



POP(でっけえなめこ)

成果、結果の考察

本活動の成果は、2022年2月21日に白山市への活動報告会で発表した。また、2月19日に環境省EPO中部主催で行われた、『中部地方ESD／SDGs推進ネットワーク地域フォーラム「SDGs学生サミット」』でも発表した。発表の様子は次のURLにてYouTubeで公表されているので、アクセス願いたい。

<https://youtu.be/nrH73EWmEEc>

今後の課題、展望

白山市では大学との連携事業をSDGs未来都市実現の重要な取り組みと位置付けていることから、本学の多様なゼミナールの参画を得て継続・拡大していきたいと考えている。